

小売全面自由化によって開放される市場

- 小売全面自由化によって、これまで一般電気事業者が独占的に電気を供給していた約 8 兆円の電力市場が開放される（需要家数約8,500万）。
- 同時に、既に自由化されている分野においても新規参入者の活動が活発になり、これまで以上に競争が促進されることが期待される。
- この結果、合計18兆円の新しい市場が生まれ、新規需要獲得を目指した競争が始まる。

自由化部門

(契約：50kW～)



大工場・大オフィス



オフィス・中工場



小工場

規制部門

(契約：～50kW)

新たに自由化される電力市場

市場規模 8.0兆円
 契約数 一般家庭部門 7,795万件
 商店・事業所等 718万件



商店



住宅

自由化される電力市場規模・契約数（2014年度）

	市場規模 (単位: 億円)	契約数 (単位: 万件)		
		一般家庭 部門	商店、 事業所等	合計
北海道	3,393	363	40	403
東北	7,310	694	81	775
東京	28,275	2,723	198	2,922
中部	10,162	959	106	1,065
北陸	1,903	189	22	212
関西	12,779	1,262	101	1,364
中国	4,686	482	45	527
四国	2,557	253	34	286
九州	7,670	787	84	871
沖縄	1,453	83	6	89
10社計	80,187	7,795	718	8,513

※合計値が合わないのは、四捨五入による。

(出所) 一般電気事業部門別収支計算書、電力調査統計